

第2回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定委員会 議事録

1 日時

令和2年6月9日(火) 午後1時30分 ～ 午後5時00分

2 場所

吹田さんくす3番館 4階 大会議室

3 出席委員

委員長 吹田市立小学校校長
副委員長 公認会計士
委員 吹田市PTA協議会代表者
吹田市立小学校教頭
吹田市立小学校栄養教諭

4 次第

- (1) 財務関係説明
- (2) プレゼンテーション (4事業者)
- (3) 評価点集計
- (4) 協議 (事業者選定)

5 議事概要

以下のとおり

○**委員長** これより第2回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定委員会を開催する。
本日のスケジュールの流れについて事務局に説明を求める。

○**事務局** まず、参加事業者数と選考方式について説明する。今回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定に応募した事業者は5者であり、辞退した事業者が1者あったため、本日のプロポーザル参加事業者は4者となっている。

次に選考方式について説明する。各事業者のプレゼンテーションの時間は、提案説明が15分、質疑応答が15分の合計30分間である。プレゼンテーションの順番は、くじに

よって決めており、A 者、B 者、C 者、D 者の順に進めていく。委員は事業者からの提案説明後、提案説明や提案書の内容についての質疑を事業者に対して行うことになる。

それぞれの事業者のプレゼンテーション開始前に事務局より評価基準書を配付する。質疑応答が終了次第、評価基準書に点数の記入をお願いする。

事業者の評価についてだが、第 1 回事業者選定委員会において、プロポーザルの際に評価の基準となるものを提示することにして、「評価基準書の配点基準」という書類を配付しているので評価の際の参考にしていただきたい。

評価基準書の評価項目のうち「小学校給食受託実績」の①～③及び「職員配置」の①～④と⑥については、あらかじめ事務局で確認し、点数化したものを 4 者のプレゼンテーション終了後に提示するので、それを参考にして評価基準書への記入をお願いしたい。

文部科学省の配置基準や調理従事者の経験年数など基準を満たしていない可能性がある事業者があるため、質疑応答時に委員より質問していただきたい。

なお、「職員配置」の⑤アレルギー除去食等個別対応の人員については提案書等に記載がないため、調理対応の食物アレルギー除去食の項目とともに審査し、点数を記入することとなる。

4 事業者のプロポーザル終了後、評価基準書に記入した点数を採点表に転記をお願いする。その後、採点表を事務局が回収し、点数の集計作業を行う。委員全員の評価点の合計点数が 6 割以上であることが選定の条件となっている。

ただし、評価点のうち「吹田市学校給食受託実績」と「価格点」は、合計から分けておくことになっている。

そのため、「吹田市学校給食受託実績」の点数（5 点）と、価格点に当たる「提案金額」の点数（20 点）を評価点の合計（140 点）から差し引いた点数（115 点）が 1 名分の点数となる。そこから 5 名分を乗じた合計点数（575 点）の 6 割は 345 点となり、合計点数が 345 点以上であることが選定の条件となる。

○委員長 今回の説明について、質問はあるか。

○委員 特になし。

○委員長 プレゼンテーションに先立ち、決算関係書類の説明を副委員長をお願いする。

○副委員長 各者の財務状況について説明をする。

まず A 者は、4 者の貸借対照表を比較すると、一番優秀である。貸借対照表の純資産の部は最終的に財産となるが 52 億円であり、優良会社である。負債の部に賞与引当金が 6 億 2,900 万円、固定負債の退職給付引当金が 10 億 7,800 万円、役員退職引当金が 9,700 万円であり、利益が十分ある会社である。もう一つの特徴は、繰延税金資産が 7 億 2,200 万円であり、これは税効果会計といい、金額が上がると財務資産も上がる。4 者のうち 2 者が繰延税金資産をあげている。売上高が 34 億 6,700 万円で税引前当期純利益金額が 12 億円であり、税金等を引くと年間で 8 億 1,600 万円の利益がある。以上のことから A 者は優秀である。

B 者の貸借対照表は、純資産の部が 2 億 6,500 万円で、資本金は 3,000 万円である。疑問点は、負債の部の未払金が 92 万 3,912 円であり、少なすぎる。損益計算書は、売上が 2 億 7,200 万円に対して当期純利益が 1,669 万円であり、利益が少ない。

C 者の貸借対照表は、資本金が 2,000 万円、資本剰余金が 4 億 3,300 万円となり、純資産合計は 5 億 7,900 万円である。資本剰余金は収益をあげたものではないため、それを除いた 1 億 2,600 万円が利益となる。A 者と同じく繰越利益剰余金をあげている。

D 者の貸借対照表は、資本金が 4,500 万円で、17 億 6,900 万円の純資産がある。今回の 4 者の中では 2 番目に高い。損益計算書は、当期売上が 56 億 1,200 万円に対して、役員退職金 5,010 万円である。当期利益が 7,700 万円とすると少なく感じる。

各者の財務状況についての説明は以上である。

財務状況についての配点が 5 点しかなく少ない。次回の検討課題になりうる。

○委員長 財務関係補足説明について、質問はあるか。

○委員 特になし。

○委員長 それではプレゼンテーションに移る。

○A 者 (プレゼンテーション 事業者説明)

(質疑応答)

○委員 人員配置について、仕様書で 900 食以上の場合、集団給食施設において 1 年以上

の経験を有する調理員を5名配置することになっているが、業務責任者と副業務責任者以外の3名について、有資格者の調理員を配置する予定であるのか。

○A者 1年以上の経験を有する調理員を配置する予定である。

○委員 コロナ禍の影響によりマスクやアルコール、使い捨て手袋などが手に入りにくい状況であるが、確保はできているのか。

○A者 グループ会社が7万規模であり、一括購入しているため確保できている。マスクは春先に布製マスクを制服製造業者へ手配したが、今は使い捨てマスクが流通しているため確保できている。アルコールは欠品していない。使い捨て手袋は欠品気味であるが、グループ会社のスケールメリットを生かして一括購入しているため不足することはない。

○副委員長 プレゼンテーションで創業120年と説明を受けたが、決算書の記載と違う。説明を求める。

○A者 創業家が様々な事業を行っており、会社自体の創業は120年である。金融リース部門が多額の借金をして資金繰りが悪くなり、17年前に会社更生法の適用を受けた。しかしながら、以前から給食部門は財務内容が良く、借金もない。

○委員 学校長や栄養教諭との連携において工夫している点はあるか。

○A者 スーパーアドバイザーが月に1回以上学校巡回を行い、栄養教諭に巡回の理由や目的を伝えることでコミュニケーションをとっている。その際は必ず校長、教頭への報告や挨拶も行っている。

○委員 保護者や地域の方たちとどのように交流を図っているのか。

○A者 「大人はみな先生」と従業員全員に教育を行っている。出退勤時を含め常に振る舞いに注意している。また、試食会の際に保護者の方たちに積極的に話し掛けるよう心掛けて交流を図っている。

○OB者 (プレゼンテーション 事業者説明)

(質疑応答)

○委員 コロナ禍によりマスクやアルコール、使い捨て手袋などが手に入りにくい状況であるが、確保はできているのか。

○OB者 複数の業者から入手している。予備もあるため確保状況に問題はない。

○委員 仕様書において業務責任者と副業務責任者を含む3名以外の調理員はローテーション制とあるが、1年以上の経験を有する調理員が5名という基準を守れるのか。

○OB者 全員でローテーションするわけではなく、業務ごとに責任者を配置し、責任者は必ず出勤する。配膳業務が大変なため、経験者と新しい人が組むようにする。

○委員 ローテーション制で前日と調理員が代わった場合、業務内容の引継ぎなどに問題はないのか。

○OB者 基本的に作業工程表と作業動線図がある。前日の打ち合わせもだが、当日毎朝のミーティングを重視している。責任者が業務に入らずに指示やチェックができる人員配置をとっている。従来から行っており、支障はない。

○委員 マニュアル周知方法として、研修を月に1回実施しているとのことであるが、ローテーションのパート職員も対象なのか。マニュアルの量が多く、時間的に難しいのではないか。

○OB者 全てを行うことは難しいが、その時によってテーマを設けて実施することで、短い時間でも最低月1回は実施している。作業後などに全職員を対象に行っている。

○副委員長 貸借対照表の負債の部、未払金がとても少ない。給料が未締めで翌月払いなのであれば、貸借対照表の負債の部にあげなければならない。決算書にあげていないことの説明を求める。

○B者 会計のことは税理士に任せており、詳細は不明である。

○委員 学校長や栄養教諭との連携において工夫されている点はあるか。

○B者 担当営業が巡回を行っているが、一番学校事情に通じているのは先生である。学校長や教頭をはじめ、特に栄養教諭と密に連携をとっている。

○委員 保護者や地域住民とどのように交流を図っているのか。

○B者 試食会は大切な場と認識しており、営業担当も参加している。営業担当から話し掛けることでコミュニケーションをとっている。



○C者 (プレゼンテーション 事業者説明)

(質疑応答)

○委員 人員配置について、仕様書で900食以上の場合、集団給食施設において1年以上の経験を有する調理員を5名配置することになっている。5人目の経験年数が未記入であるが1年以上の経験を有する調理員を配置するのか。

○C者 1年以上の経験がある者を異動で配置することを予定している。

○委員 コロナ禍によりマスクやアルコール、使い捨て手袋などが手に入りにくい状況であるが、確保はできているのか。

○C者 マスクは一時的に流通がストップしたが、今は安定供給になりつつある。冬場になるとまた不足する可能性があるため、優先的に業者へ確保するよう手配している。それでも不足する場合は、学校長や教育委員会に相談し、マスクを使い分けすることで対応したい。

○副委員長 会社の設立が平成28年と新しい。説明を求める。

○OC者 元々は、グループ会社の一部門であったが、学校給食の事業が増えてきたこともあり、事業継承会社として弊社を設立した。契約はそのまま継承したため、設立は最近であるが受託数が多い。

○委員 衛生面などで何か課題や今後取り組みを検討していることはあるか。

○OC者 スキルアップシートを活用することで調理員ごとのスキルの差が明確になり、指導に活かしている。シートを活用し、どの学校も同じレベルにすることが求められることである。今後の課題としては、現場ごとに適合するようにシートを改修していくことが検討課題としてあがっている。

○委員 保護者との交流はあるのか。

○OC者 委託業者から直接交流をはかるのは難しい。児童にレシピを渡すことで保護者の方に喜んでいただく、間接的な交流がある。試食会において保護者と意見交換をしている。給食センターでは、防災訓練で炊き出しをしたりして地域との交流を図っている。



○OD者 (プレゼンテーション 事業者説明)

(質疑応答)

○委員 人員配置について、仕様書で900食以上の場合、集団給食施設において1年以上の経験を有する調理員を5名配置することになっている。5人目の経験年数が未記入であるが1年以上の経験を有する調理員を配置するのか。

○OD者 1年以上の経験がある者を募集で配置することを予定している。

○委員 受託を希望している藤白台小学校の令和5年度の5人目も同じか。

○OD者 1年以上の経験がある者を募集するか異動で対応する。

○委員 コロナ禍によりマスクやアルコール、使い捨て手袋などが手に入りにくい状況であるが、確保はできているのか。

○D者 グループ会社がありこの状況を把握したうえで、大体の目安量を確保している。現状とは使用品が変わるかもしれないが、確保に問題はない。

○委員 学校長や栄養教諭との連携において工夫している点はあるか。

○D者 月1回の巡回時に、管理職の先生方とコミュニケーションをとっている。先生方とのコミュニケーションが重要と考えており、コミュニケーションの強化を目的とし、社員の研修を実施している。

○委員 保護者との交流を図っているのか。

○D者 他市の例であるが、学校主催のバザーや祭りなどで餅つきをしたり、ふれあいクッキングなどを通して交流を図っている。



(採点表集計及び集計結果発表)

○事務局 各委員の採点を一覧表示する。各自採点に誤りがないか確認をお願いします。

(誤りなしと確認)

各委員の合計点数 345 点以上が6割となるが、全ての事業者がクリアしているので、評価対象とする。この点数に実績点及び価格点を加えた結果として、A者 547 点、B者 490 点、C者 557 点、D者 552 点となり、上位からC者、D者、A者、B者の順となる。

希望調査票から、まず評価点1位のC者は2校受託希望であり、千里第三小学校と東山田小学校を希望しているので千里第三小学校と東山田小学校の最優秀提案者となる。

2位のD者は2校受託希望であり、藤白台小学校と東山田小学校を希望しているので、藤白台小学校の最優秀提案者となり、東山田小学校の次点者となる。3位のA者は東山田小学校のみを希望しているが最優秀提案者及び次点者が決定しているため不採用となる。4位のB者は最優秀提案者が決定していない南山田小学校を希望しているので、南山田小学校の最優秀提案者となる

○**委員長** ほかに何か質問はあるか。

(発言なし)

○**委員長** それでは選定結果に基づいて、事務局に手続をお願いします。

○**事務局** 選定結果に基づいて、各校の最優秀提案者に対して契約事務を進めていく。

○**委員長** 議事が終了したので、これをもって第2回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定委員会を終了する。